

市長定例会見

2024年1月11日

**今日お伝えしたいこと**

**令和 6 年能登半島地震 被災地への支援**

# 令和6年能登半島地震

発生日時：2024年1月1日16時10分

地震の規模：M7.6 最大震度7(直下型地震)

被害状況：死者213人、安否不明者52人(本日9時時点)



# 阪神・淡路大震災と似た震災

BE KOBE

- ・ 阪神・淡路大震災と同じ直下型地震
- ・ 木造住宅など多くの建物が倒壊
- ・ 生活インフラが壊滅的な被害
- ・ 密集市街地における火災の発生



神戸市の経験・ノウハウを活かす

# 緊急消防援助隊、給水車等の派遣 1月3日～

消防ヘリ1機(5名)



給水車1台・指揮車2台(6名)



1/7～ 水道施設の漏水調査等、災害復旧支援のために  
穴水町に職員2名と作業車1台も派遣

# 物資の支援 -1月4日-

BE KOBE

宝達志水町へ毛布、おむつ、生理用品等の物資を支援



# 対口支援(カウンターパート支援)の決定

被災自治体(石川県)	指定都市市長会	関西広域連合
珠洲市	神戸市、浜松市、千葉市、熊本市	神戸市、兵庫県、福井県
金沢市	仙台市	
七尾市	名古屋市、さいたま市、京都市	京都府、京都市
輪島市	川崎市、大阪市、堺市、静岡市	大阪府、大阪市、堺市、徳島県
加賀市	静岡市	—
津幡町	相模原市	—
内灘町	仙台市	—
志賀町	横浜市、岡山市	鳥取県
宝達志水町	札幌市	—
穴水町	—	奈良県
能登町	—	滋賀県、和歌山県

# 神戸市被災地支援対策本部の設置 -1月7日-

## 対応方針

- ・ 中長期にわたる被災地に寄り添った支援を実施
- ・ 対口支援先である珠洲市を中心に支援を実施
- ・ 珠洲市以外でもニーズに応じて対応
- ・ 阪神・淡路大震災の経験や知見、ノウハウを活かした本市ならではの支援を実施

## その他の協議内容

- ・ 今後必要となる、段階に応じた支援内容や課題について共有
- ・ 阪神・淡路大震災を経験した幹部職員やOB職員からの意見・提案

第1回本部員会議を同日開催





# 阪神・淡路大震災の復興までの主な業務

段階	主な業務	課題
初動	緊急消防援助・救急搬送活動	水利障害による消火活動の停滞、救助・救急事象および病院情報の把握
	応急給水	水源、給水箇所の不足
応急	救援物資の送付	受入体制、ニーズとのミスマッチ、道路渋滞
	物資の寄付対応	被災地と支援元窓口との調整
	避難所運営	避難所の運営・管理計画の未整備
	建物被害認定調査	調査人員の確保、判定基準の整合性確保
	り災照明書発行	人員の確保
	ボランティアの受入れ	受付窓口での配置調整
	災害廃棄物処理	粉塵の発生による衛生環境の悪化、処分地の不足
復旧 復興	被災者の生活再建支援	義援金窓口の確保、受入配分、各種減免措置の検討、被災者への広報
	復興計画作成	専門的知識の活用
	公共土木・農業用施設の災害復旧	災害査定等、国の制度的課題、技術職員の不足
	被災者、被災児童に対する心のケア	多様な様態に対する専門知識の確保、教員の確保

# 珠洲市への支援 1月5日～

## 珠洲市の被災状況

死者 98人 安否不明者 4人(本日9時時点)

避難者 5,379人(全住民の43%)(1/10 14時時点)



1/5～ 情報連絡員の派遣



1/8～ 避難所運営支援チームの派遣

# 珠洲市以外の被災地に対する支援状況

1月7日～

BE KOBE

派遣先	支援内容	開始日
石川県	県庁への情報連絡員 (関西広域連合)の派遣	1/7～
能登町・穴水町	下水道の被害状況調査	1/8～
輪島市	健康支援	1/8～
—	市営住宅の提供	1/9～
穴水町	応急危険度判定士の派遣 (建物の応急危険度を判定)	1/10～
金沢市内	災害派遣医療チーム(DMAT)	1/10～
福井県	第2次 緊急消防援助隊	1/11～



県庁へ情報連絡員を派遣

# 被災地のニーズに応じた追加支援

市独自

BE KOBE

1月5日に珠洲市に入った情報連絡員(リエゾン)が被災地のニーズ・情報を収集



1/12~

道路・港湾施設等の復旧応援、被害状況調査  
避難所での保健師による避難者の健康管理

# 災害救援募金の受付開始

## 設置期間

～ 3月29日(金)

## 設置場所

- ・ 市役所 1号館 1階
- ・ 各区社会福祉協議会窓口 (各区役所内)

## 振込先

みなと銀行 神戸駅前支店

普通口座 1637003

コウベシシヤキョウ サイガイキユウエンキンボキン エー  
神戸市社協 災害救援募金 A

